

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|---------------|------------|--|
| 事業所番号 | 1293100010 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人南山会 | | |
| 事業所名 | 憩いの里富津 | | |
| 所在地 | 千葉県富津市青木214 1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年3月10日 | 評価結果市町村受理日 | |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://kaigo.chibakenshakyō.com/ |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人ウェルビーイング | | |
| 所在地 | 木更津市富士見1 2 1アクア木更津ビル8階木更津市テレワークセンター内 | | |
| 訪問調査日 | 平成24年3月21日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ホーム内は明るくゆとりのある廊下や各居室にはトイレ・洗面所の設置、オール電化設備等で、入居者様にとって安全で暮らし易く配慮されている。 ・日中、玄関の施入はなく、自由に出入りが出来る事により、入居者様の精神的安定が得られ、屋外への徘徊が減少している。 ・地域の行事に参加したり、当ホームの行事に地元ボランティアを招き、近隣の保育園児とは頻繁に行き来する等、地域の方との交流を積極的に図っている。 ・御家族様と入居者様の関係が途切れる事の無いよう、月1回の利用料の支払いはホームの窓口へ直接お越しいただき、面会の機会を設けています。 ・協力医は24時間対応となっております。安心できる医療体制が築かれています。 |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>施設は静かな環境に恵まれています。 室内は明るくゆとりのある空間に構成されており、対面キッチン、全居室トイレ、洗面完備、オール電化など特長があります。 玄関を施錠しない、利用者がいつでも自由に外に出られる抑圧感の無い自由な暮らしが出来る工夫をしている。 朝の散歩では地域の方とのあいさつ、会話を楽しんでいる。 又、ボランティアの受け入れもしており、近くの保育園児を招き、交流している。 外へのドライブ、お花見、喜びを感じる支援をされている。利用者、家族の交流が出来るだけ途切れない努力、工夫をされている。 災害対策では、消防署の協力、備蓄品の備えをしている。利用者が安らぎを得られる様、使い慣れた家具を持ち込</p> |
|---|

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 | 項目 | 取り組みの成果 該当するものに 印 |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | <ul style="list-style-type: none"> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <ul style="list-style-type: none"> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | <ul style="list-style-type: none"> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------|-----|--|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所理念を事務所内や玄関などに掲示し、会議等で再確認を行う事で、理念を共有して実践につなげている。 | 事業所が目指す理念を玄関、事務所に掲示。理念をサービスに結びつける様に努力している。 | |
| 2 | (2) | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 日課の散歩では地域の方々や挨拶や会話を交わしている。又、地元自治会の行事や近隣の保育園の行事に参加したり、当ホームの行事に地元ボランティアや近隣の保育園児を招き交流を図っている。 | 地元自治会の行事の参加、保育園行事の参加、又、事業所へ地域ボランティア、保育園児を招き、地域の交流に積極的に取り組んでいる。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 電話での相談や、突然の施設見学に対応している。近隣の方からの介護方法等の相談にも応じている。 | | |
| 4 | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議ではサービスや状況等についての報告を行っている。会議での意見を全職員に周知し、話し合いを行い、サービスの向上に努めている。 | 運営推進会議では、事業所のサービスの取り組みの内容を報告している。外部の方の意見を頂き、全職員に周知している。又、意見を検討し、サービスに繋ぐよう努力している。 | 運営推進会議の参加者は、市町村の交流が良く、関係作りが出来ている。あとは、回数が増える事を期待します。 |
| 5 | (4) | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者とは密に連絡を取り、状況を伝えたり話し合いをすることで協力関係を築いている。 | 市町村担当者に実情を伝え、課題解決に協力を頂いている。 | |
| 6 | (5) | 身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日中は玄関を開放し、自由にテラスへの出入りが出来るようになっている。身体拘束については全ての職員が正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束をしないケアに、職員が正しく理解し安全を確保しながら、自由な暮らしが出来る様努めている。 | |
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 会議にて学んでおり、職員の意識向上を図り、虐待防止に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 日常生活自立支援制度および成年後見制度について会議等で学んでいる。 成年後見制度については事例があり支援を行っている。 日常生活支援自立支援制度については、今のところ利用はないが、今後必要に応じて活用していきたい。 | | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 不安な点や疑問な点は、理解・納得して頂けるよう十分な説明を行い同意を得ている。 | | |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 内部に苦情相談窓口を設けており、契約書に記載するとともに説明を行っている。 又、外部苦情窓口についても契約書に記載し、案内を行っている。 | 利用者家族の意見、要望を頂くために、苦情相談窓口を設けており、説明を行っている。 | |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 年2回の個人面談や月例会議の際に、職員の意見や提案を聞き、多くの意見を取り入れている。 | 職員の意見を、個人面談や会議などの時に十分に聞き、活かしている。 | 同業者との交流を今以上増やし、サービスの質の向上につなげる事を期待したいです。 |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 個々の実績や能力を把握し評価を適切に行い、給与・待遇面に反映させている。 | | |
| 13 | | 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部での研修に参加したり、定期的に内部での研修会を行っている。 | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との相互訪問があり、ネットワークづくりは行っているが、勉強会は行っていない。他事業所とは交流する機会を持ち、サービスの質の向上につなげている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前に必ず御本人・御家族同行の上で見学に来て頂き面談を行っている。要望等を傾聴し、安心・納得して頂けるよう説明や話し合いをさせて頂き、信頼関係が築けるように努めている。 | | |
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入所前に必ず御本人・御家族同行の上で見学に来て頂き面談を行っている。要望等を傾聴し、安心・納得して頂けるよう説明や話し合いをさせて頂き、信頼関係が築けるように努めている。又、少しでも疑問等があれば、いつでも気軽に問い合わせして下さるよう御案内している。 | | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 御本人・御家族のお話を傾聴し話し合いを行うことで、その時に必要としている支援を見極めている。場合によって、他のサービス利用についても説明している。 | | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 菜園の草取りや水やり、食事の準備(配膳・野菜の皮むき・盛り付け等)や後片付け(食器洗い・食器拭き・テーブル拭き等)、洗濯物畳み、居室内の掃除やシーツ交換、散歩時に車椅子を押して頂く等、一人一人の有する力に応じて出来ることをして頂き、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 共に本人を支えて行けるよう、家族とは小さなことでも常に連絡を取るようになっている。必要であれば面会に来て頂き、直接本人とお話して頂いている。 | | |
| 20 | (8) | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 年始の挨拶廻り・友人との食事会・墓参り等、家族だけではなく友人や知人との外出も容認し、なじみの人や場所との関係が途切れないよう支援を行っている。 | これまで培ってきた人間関係、友人、知人、馴染みの人の交流が継続できるための支援を、職員一同で行っている。 | |
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を把握し孤立することが無いよう食席等配慮している。又、日課の散歩時に車椅子を押して頂いたり、居室を自由に行き来して一緒にテレビを視聴されたり談話されるなど、利用者同士が関わり合い支え合えるよう支援を行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退所後も経過を伺い、必要に応じて相談や支援を行っている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 言動や会話の中から希望や意向の把握に努め、その人らしく暮らして行けるよう検討している。 | 会話の中から、その人らしい暮らしを見つけてあげられる努力をしている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 生活環境やサービスの利用経過については、入所前に情報収集し把握に努めている。生活歴やなじみの暮らし方については、御本人や御家族からお話を伺い、又、センター方式を活用することで細かな把握が出来ている。 | | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの身体状態や一日の過ごし方を把握し、その日その時の状態によって過ごして頂いている。 | | |
| 26 | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月のケース会議にて課題をあげ、ケアのあり方等について話し合いを行っている。その意見に基づき、御本人や御家族と話し合った上で、介護計画を作成している。 | 毎月のケース会議の課題を検討し、良いケアになる様に話し合い、ご家族の意見も取り入れ作成している。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子等、個別記録へ詳細に記入することで情報を共有している。必要に応じて都度話し合いを行い、実践や介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 既存のサービスに捉われない、その時々本人や家族の状況やニーズに対して柔軟に対応している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近隣のマザー牧場での花見や富津公園迄ドライブする等し、地域の方々と触れ合う事で喜びや楽しみを感じ取る事が出来るよう支援している。又、食材には地元産の安全な農・海産物を出来るだけ取り入れるよう努めている。 | | |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 協力医による2回/月の往診があり、必要であれば医師・家族・事業所相談の上、専門医を受診して頂き、適切な医療が受けられるよう支援している。協力医は24時間対応となっており、急変時は都度、指示を仰いだり往診を行っている。(協力医による往診は入所前に同意を頂いている) | 協力医の往診、専門医受診、急変時も医療が受けられる協力医は24時間体制で往診が可能。本人や御家族が納得が得られる支援を行っている。 | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 協力医の看護師による1回/月の訪問看護があり、情報や気づきを伝え相談している。情報や気づきは医師にも報告し、適切な指示を仰いでいる。 | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 安心して治療が出来るよう、病院関係者や家族と連絡を取り合って情報交換を行い、退院後に備えている。 | | |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合については、本人・家族・関係機関・主治医と十分に話し合い方針を共有している。今のところ、地域関係者とのチームでの支援は行っていない。 | 終末支援のあり方と、本人・御家族・関係機関・主治医と十分に話し合い、方針を共有し支援されている。 | |
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全職員が普通救命講習を受講しており、応急手当や心肺蘇生の方法を習得している。又、緊急時の対応については定例会議にて確認・周知を行っている。 | | |
| 35 | (13) | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署の協力により、夜間を想定した避難訓練を実施した。災害に際しての備蓄品の備えがあり、役割分担や連絡体制については各自認識している。 | 消防署の協力で、夜間を想定した避難訓練を実施し、災害がいつどの時間に起きるか準備しておく取り組みが行われた。非常用食料も用意されている。スプリンクラー設備、役割分担、連絡体制もしっかりしている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人権や人格を尊重し、プライバシーに配慮した声掛けや対応を行っている。 | 一人ひとりの気持ちを大切にして、プライバシーに配慮し、事業所全体で取り組んでいる。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人が思いや希望を表すことが出来るよう働きかけ、納得して暮らしていけるよう支援している。 | | |
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入浴や日課の体操など時間に決まりはあるが、それ以外は本人のペースで過ごして頂いている。 買物や散歩など、出来る範囲で一人ひとりの希望に添えるよう支援している。 | | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 本人の好みを聞きながら着替えの準備をするなど、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | | |
| 40 | (15) | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事が楽しみになるよう毎食メニューの掲示を行っている。 食事の準備や片付け・盛り付けや配膳など、個々の能力によって出来る事・得意な事を職員と一緒にやっている。 | 食事は一番の楽しみ。食事の準備、片付け、盛り付け、配膳、皆でコミュニケーションを取りながら、一緒に出来る事をしている。 又、栄養面に配慮し工夫されている。 食後口腔ケアも心掛け清潔を保っている。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの状態により食事形態を変えたり、好みの飲み物を提供している。 又、苦手な食べ物は本人の栄養面に配慮した上で本人の好みに合わせ代替品を提供している。 | | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人ひとりの力や口腔状態に応じて、介助および声掛け・見守りにて口腔ケアを行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 時間での声掛けやトイレ誘導を行い、排泄の失敗を減らすよう支援している。 オムツ対応の方でも、日中はトイレ誘導を行い、オムツの使用を減らすよう支援している。 | 自尊心に配慮し、トイレの誘導を行っている。 トイレでの排泄を大切に、オムツの使用を減らす支援をしている。 便秘予防の為に飲食物の工夫もされている。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 食事には繊維の多い食品や乳製品を取り入れている。 又、日課の体操以外にも運動を行ったり、ペットボトルに入れたお茶を居室に置き何時でも水分が摂れるようにと個々に応じた対応をしている。 | | |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 入浴の曜日や時間は決まっているが、それに合わせて自分で着替えを準備したり、順番を確認し楽しみにされている。入浴の方法については個々に合わせた支援を行っている。 又、季節に合わせて菖蒲湯やゆず湯などを行い入浴を楽しめるように支援している。 | 入浴時の羞恥心や恐怖心に配慮しつつ、入浴を楽しんで頂く為に希望等聞いている。 又、季節に合わせた菖蒲湯やゆず湯を楽しめる支援をしている。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活習慣や状況に応じて、自由に休息して頂いている。 個々によっては時間を見て離床の声掛けを行い、夜間良眠出来るよう支援している。 夜は就寝時間を決めず、本人の希望に沿って就寝して頂いている。 | | |
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬ファイルにて情報を共有し理解している。 症状の変化等あった場合は、速やかに医師へ連絡し適切な指示を仰ぐとともに、職員へ申し送りを行っている。 | | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 食事の準備や草取り・洗濯物畳みやおしぼり配りなど、個々の力を活かした役割を担うことで張り合いのある日々を過ごして頂けるよう支援している。 又、季節の行事や誕生会を行うことで楽しみや喜びを感じて頂いたり、散歩やドライブ等で気分転換を図れるよう支援している。 | | |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 一人ひとりの希望に添えるよう、希望があれば買物や散歩、ドライブなど戸外に出掛ける事が出来るよう支援に努めている。 本人の希望を把握し、家族の協力を得て外出できるよう支援を行っている。 | 日常的に外出が出来る支援をされている。 一人ひとりの希望に合わせ、買い物、ドライブ等、気分転換の支援がされています。 又、家族の協力も得ている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 一部の方はお金を所持されており、希望に合わせて買物や床屋などに行き自身で支払いを行っている。 | | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 家族からの電話を受け継いだり、職員が家族へ電話を掛け取り次いでいる。 手紙のやり取りは本人の要望に合わせて支援をしている。 | | |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間が利用者にとって不快な物にならないよう、音や光、温度等配慮を行っている。 四季折々の草花や果物、置き物を飾り、季節を感じて頂けるよう工夫をしている。 | 一人ひとりの希望を取り入れ、好みの場所できつろいでいる。 共有空間では、こちよいいメロディーが流れ、安心感のある場所になっている。 1、2階のユニットには、対面キッチンが設置され、白、赤、グリーンのいどりの良い空間を作っている。 | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングにはソファが置かれ、ゆっくりとテレビ視聴や団欒が出来るようになっている。 又、玄関・ホール・テラス・廊下にはベンチや椅子を配置し、それぞれが好みの場所で過ごせるよう工夫をしている。 | | |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 家庭の延長である為、家具等新しく買い揃える必要はないこととお話しし、長年使い慣れたものをお持ち頂いている。遺影や家族の写真、生花など本人が必要とするものや好みのものを持ち込んで頂き、居心地良く過ごして頂けるよう配慮している。 | 使い慣れた馴染みの物を置き、自宅の環境と同じ、ギャップを感じさせない工夫がされています。 廊下、部屋、トイレ、浴室には手すりが設置され、床は木の落ち着いた雰囲気を出しています。 | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 全館バリアフリーであり、各居室にはトイレと洗面台を設置、トイレや廊下・浴室等に手摺りが設置されている。各居室にトイレがあることでトイレに迷うことなく、安全で自立した生活が送れる環境になっている。 | | |